



高幡会だより

こころ 79 2024.4



私達は、地域において必要とされる 病院・施設・事業所を目指します。



日本医療評価機構認定病院 大西病院 <http://www.oonishi-hp.or.jp/>



桜の便りに心弾ませる季節となりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年は、年明け早々、能登半島で大きな地震がありました。

「天災は忘れた頃にやって来る」これは、高知県出身の物理学者である寺田寅彦の有名な警句で、起きてしまった災害を忘れることなく日々の備えをしなくてはならないという意味ですが、ここ近年、阪神大震災、東日本大震災、熊本地震など忘れる時間的経過の無いほど、大きな震災が続いている現状です。高知県においても過去の歴史を見れば、近い将来必ず来るであろうと予測される南海トラフ地震の対策に追われているところです。また近年、ゲリラ豪雨や線状降水帯などによる豪雨災害も頻発している印象です。

高幡会では、火災・消火避難訓練、風水害訓練、地震対策訓練などさまざまな訓練を実施し、マニュアルの整備や BCP(事業継続計画)の策定を行い、機会あるごとに職員の防災スキルと意識の向上に努めています。

「備えあれば憂いなし」と言われますが、発生やその後の経過など予測の難しい災害においては、「備えありて憂いあり」の意識をもって、安心することなく常に防災意識を持ち続ける事が大切かと思えます。

これからも、皆様に安心して御利用して頂けるよう災害対策に努めて参ります。

大規模災害時における 病院の役割と防災訓練の重要さ

去る、令和6年3月22日に防災・防火訓練年間計画に基づいた、南海トラフ巨大地震を想定した避難訓練を挙行。

地震が発生した場合の初期対応として自分自身の安全確保をした後、入院患者様、入所者様の安否確認、転んだり、ベッドから転落して怪我をしていないか、点滴などの管が外れていないかなど確認した後、安全な場所への避難誘導の方法、寝たきりや歩けない患者様の移送を実施しました。

直下地震などの大規模災害が発生した際に、病院には在院患者の安全確保、新たな傷病者を受け入れるための病院機能の維持及びスペース確保といった役割が求められます。

このような役割を災害時に十分に発揮するためには、平時より防災訓練を通じて、災害時の具体的な対応策が病院の各部署、各スタッフに理解され、浸透していることが大変重要です。

防災・防火担当 木村 和幸



おむつの当て方講習会

3月8日、12日の両日、院内採用のおむつの変更のため、ユニ・チャーム様を講師にお迎えして、おむつの当て方講習会を実施しました。

内容は、

- 紙おむつの果たす役割
 - 正しいおむつのサイズの選び方
 - パットの装着方法
 - 現在主流のおむつの種類
 - 正しいおむつの装着方法
 - オムツ交換時間や回数
- 等々です。



アウターとインナーから構成される紙おむつには、異なる吸収量、形状、サイズなど多くのバリエーションが存在し、それらを踏まえて、個々人の排泄の状況やニーズに応じて、おむつを選択することが大切であること。

実技では、紙おむつの構造上の機能を理解したうえで、ビニールの人形を使用して、どのように当てたらその機能が十分活かせるのかを学びました。そして、おむつの機能を活かす当て方が、患者様および介助者の負担を減らすことに繋がることを教えていただき大変勉強になりました。



今回は、私たちが日々行っているおむつの当て方について、患者様の立場から、また、ケアを行う自分達の立場から見直し、再確認する良い機会となりました。

これからも、患者様の尊厳や羞恥心に十分配慮して、快適に過ごせるよう、不快な気持ちにさせぬよう、夜間は良眠してもらえよう、日々の排泄ケアの向上に努めて参ります。

看護部 三宮 佳奈



高幡会の食事



3月の行事食は「散らし寿司」でした。

3/3 ひな祭りに散らし寿司を提供しました!



- 献立
- ・散らし寿司
 - ・炒り煮
 - ・すまし汁

散らし寿司の飾りに桜の形の人参を乗せて提供しました。

散らし寿司は嗜好調査でも人気のメニューの1つです。この日も皆様に「美味しい」と喜んで食べていただきました。



今後も皆様にとって楽しみとなる食事の工夫をしていきます。

栄養科

ひなた便り

少しずつ暖かくなってきました。
すっきり、春の気候ですね！
デイサービスひなたでは日向ぼっこもかねて、
地震を想定した避難訓練を行いました。

①まずは頭を隠して



②安全確認後、 避難場所設置



③さあ、避難開始！！



地震に備えて、
日ごろの訓練も
大切ですね。

④避難完了



皆様からの「投稿」をお待ちしております。
病院へのご意見・ご質問、広報誌へのご感想
ご意見などをお寄せください。

〒786-0007
高知県高岡郡四万十町古市町6番12号
TEL.0880-22-1191 / FAX 0880-22-1250
✉ e-mail : info@oonishi-hp.or.jp